

代表的な 8 疾患 連携ツールの使い方

■ 代表的な 8 疾患 体験まとめ症例数

- 資料 1 の 8 疾患連携ツールよりプリントアウトして学生にお渡しください。
- 1 1 週間通じて記載していき、正の字で症例数を計測する
カッコ内に合計症例数を記載する。
- 各疾患の対象疾患については資料 2 の代表的 8 疾患に分類される具体例を参考にしてください。
- 1 枚の処方箋に複数の疾患が関係する場合はそれぞれに計測して記載する。
- 実習終了時、『薬局指導薬剤師 確認』欄に押印して次の病院実習の指導薬剤師に提出するよう学生にお伝えください。

■ 記載例

高知県連携ツール		代表的な8疾患 体験まとめ 症例数			薬局 指導薬剤師 確認印	病院 指導薬剤師 確認印
氏名:		施設名:				
疾患	調剤 処方解析	服薬指導	処方提案 疑義照会	継続的 関わり		
①	正 (5 例)	(例)	(例)	あり(例) なし		
②	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし		
③	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし		
④	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし		
⑤	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし		
⑥	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし		
⑦	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし		
⑧	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし		
⑨	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし		

※正の字で症例数を計測する。合計症例をカッコ内に記載する
 ①がん ②高血圧 ③糖尿病 ④心疾患 ⑤脳血管疾患
 ⑥精神神経疾患 ⑦免疫アレルギー疾患 ⑧感染症 ⑨その他

■ 代表的な8疾患体験まとめ

- 資料1の8疾患連携ツールよりプリントアウトして学生にお渡しください。
(計4枚あります。1枚に2疾患)
- 学習した各疾患の薬剤にレ点を記入する。
- 1枚の処方箋に複数の疾患が関係する場合は各対象薬剤にレ点を付ける
- 実習終了時に各疾患の評価を下の評価表に沿ってマルを付けてください。
(※ どこまで各疾患に関わったかを見るものなので評価が低くなったからダメということではありません。)
- 実習終了時、次の病院実習の指導薬剤師に提出するよう学生にお伝えください。

■ 記載例

代表的な8疾患(がん、高血圧) 体験まとめ 疾患と代表薬剤

がん	疾患名					
	代表薬剤	☐ 代謝拮抗薬				
		☐ アルキル化剤				
		☐ 白金製剤				
		☐ DNAトポイソメラーゼ				
		☐ 抗癌性抗生物質				
		☐ 抗癌性植物成分				
		☐ 分子標的薬				
		☐ 抗エストロゲン、抗アンドロゲン薬				
		☐ その他()				
		☐ 支持療法薬(制吐剤など)				
		☐ オピオイド				
	評価	4	3	2	1	0

高血圧	疾患名					
	代表薬剤	☐ Ca拮抗薬				
		☐ ACE阻害薬				
		☐ ARB				
		☐ β遮断薬				
		☐ 利尿薬				
		☐ α遮断薬				
		☐ その他()				
	評価	4	3	2	1	0

4	3	2	1	0
複数の症例について継続的に関わり、薬剤師レベルの対応ができた。	処方提案などを通じて、患者個々の状態にあった対応ができた。継続的に関わる事ができた。	処方解析、薬歴等の確認を行い、治療方針について理解し、実際に症例について対応した。	実際の症例で、処方解析、薬歴等の確認を行い、治療方針について理解できた。	該当患者がおらず、対応する機会がなかった。

■ WEB実習日誌テンプレート

- 資料3の薬局実習日誌テンプレート（Word）を学生にお渡しください。
（USBなどを活用してファイル形式でお渡しください。）
- 学生は日々の日誌の学習・感想欄にテンプレートをコピー＆ペーストして必要項目に沿って記入する。
（不要な部分、学習していない部分は消してもらって構いません。）
- テンプレート以外の項目を学習した場合は『疑義照会、処方提案の内容』の続きに記入する
- 大学で決められたテンプレートがある場合は、そちらを代用しても構いません。

☆ テンプレートを使う目的

: 大学や学生によって書き方や内容に差が出てくるので最低限の学んだ内容を均一化するため。

■ 記載例

Web実習日誌 テンプレート(薬局)

■指導薬剤師()

■体験した代表的な8疾患(体験した疾患のみ記載)

~~がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症~~

■体験した内容

■調剤、処方解析

☐ 薬歴などによる患者状況の把握と治療方針の確認

☐ 疑義照会

☐ 服薬指導(件数:)

☐ 処方提案

☐ 在宅

☐ その他

■体験した疾患の代表薬剤

(アムロジピン・レボフロキサシ)

■疑義照会、処方提案の内容

()